

童

2022年11月2日。

大地の丘は 最高に美しい彩りを迎えています。文庫前のケヤキは 赤く染まり 毎朝 子ども達を美しく迎えてくれています。同じ木でも、毎年 色づきが違うらしいです。その季節の天候や温度の違いによって。まさに 子育てと同じですね。

皆さんの連日の子ども祭の準備、ありがとうございます。当日はきっと最高の天気と紅葉に恵まれる事でしょう。子ども達も、連日の準備を横目に、期待を膨らませていると思います。よろしくお願ひします。

そんな秋真っ盛りの10月から11月。朝晩の冷え込み 霜 車の窓ガラスの氷結 そして 飯縄や黒姫の初冠雪、確実に冬の影もちらついてきました。大地の薪ストーブからの煙も、まもなくあがります。こんな季節ともなれば、だんだん気分がメランコリックに静かにしんみりとなっていくのですが、なんだか今年は違う!! 子ども達も、長距離散歩に代表されるように、元気に遊び 秋の味覚を満喫し、農作業もたっぷりして 躍動感溢れている毎日。その理由は?

そうです! 子ども祭の準備の熱気が 保護者の皆さんに溢れているからです。当初は、出だしの遅れが心配されましたが、それは心配無用でした(お詫び申し上げます!!)

連日の製作 準備 駆け回る熱気 練習 等 そのエネルギーは 大地を 子ども達を包んでいます。全体が その熱気に覆われ、前に向かうエネルギーとなり、子ども達に確実にそれが伝わっているのです。

まさに 子育ては、両親の人生の姿勢そのものだからです。子どもは 未来からの贈り物と言われている。だからこそ、私達も 夢と未来にむけて 元気にエネルギーに歩んでいく毎日が、素晴らしい子育てにつながるようになるでしょう。

子ども祭が終えて、燃え尽き症候群! ?にならぬよう、ご注意下さい。まだまだ、大地の楽しみは 冬に向けて続きます。



【期限付き目標 夢は持たない! ?】

願望達成 夢実現 自分らしく・・・30代 40代前半ぐらいまで、それらの本を読み、セミナー等でたくさん学んでいました。その頃から、世の中にこんな世界が広がり始めたような気がします。

スポーツ選手やオリンピック選手などの講演でも、ほとんど「夢を持つと必ず 持ち続けければ実現できるから 私達も実現したから 皆さんもできる」など、共通の趣旨で終わるような気がします。(実際に 青ちゃんも、どこかで そんな講演を過去したことがあります。でも嘘くさかった自分がありました。)

何か いつも この夢を持つと 言うことに対して違和感がありました。それが どうしてわかりました。三砂ちずるさんの本「抱きしめられなかったあなたへ」の幼児や小学生に大きくなったら何になりたいかと言う質問や調査をして、それが一体何の為になるのか、何に使うのかという文章です。以下 簡略にまとめてみました。

夢がある、こうなりたいという目標をもって生きることはいいことですが、幼い頃ほど自分の心は今にしか向かわない、大きくなるために生きているのではなく、今、子どもとして 子どもとしての時間を存分に生きているのです。それだったら、小さいときに亡くなってしまった子どもは存在する意義がなかった事になります。そんな事は決してなくそんな子ども達も皆それぞれの役割を家族や周囲の人達にしっかりと果たしていつています。「大きくなって何かにならなかった」けれども、一つ一つの命は残った者達につなげられています。

大きくなったら困る 苦労する こんな事では将来困る しっかり目標を持ってやらせたい・・・小さい頃から周囲が将来を心配し、口に出すことで、子ども達が今を生きるのに苦しくなり「何者かにならなければならぬ症候群」に脅かされてしまう。それよりも 今 を生きる手助けをする方がいい。

何にならなくてもいい。何にならなくてもあなたであるだけで、いきているだけで素晴らしく、私はとても幸せです。今感じていることを大切に 今生きていることを楽しんで。今感じられることは、後で感じられることとは全く違う。未来というのは その一時一時の積み重ねの先にしかないから。何にもならなくてもいいから、今を存分に生きて(こんな意見に対しては そんなな生き方 行き当たりばったりの生き方を助長すること 目標がないからぶらぶらしてしまうんじゃないかと言われるかもしれない)

自分自身も 小さい頃なんて 将来の夢なんてなかったし大きな目標もありませんでした。将来を考えるなんて、(今でこそ 就活を目指して 小さい頃からの受験があるような時代ですが) こどもの頃は、(いや 大学生位まで) 今を楽しみ過ぎてきました。今思い返せば、その一時一時の楽しみ 体験の積み重ね ドキドキワクワクした心の重なりが、自分のやりたいこと、そして 現在の生活に そして 未来展望に大いに役立っているように思います。その時々、全力でやりたいことに向かい(友達との遊び バイク 旅 恋愛 アルバイト サラリーマン・・・)

※サラリーマンの営業でもトップセールスでしたが、六ヶ月で栄光の中、くだらなくて辞めた!! その時々には後悔もなく、全力で何事にも向かう姿勢スタイルの未来に輝きがあることを学びました。だから、どうせやるからには、全力で中途半端にはやらない が、自分の柱になっているような気がします。

そして、人生の後半に入り、幼少期や若いときの豊かな楽しき思い出が、その体験が、その環境が、更に 今を生きる原動力になっています。明日を憂い 過去を反省後悔して生きる スタイルよりも 今を全力で生きる ほうがはるかに パフォーマンスが発揮できるように思います。明日を憂う事は、将来どうするの? という不安要素を投げかけるようなものですし、将来は 未来は バラ色ではなく 不安で厳しいものなんだよ と言うようなものです。それでは、子ども達は 未来に展望を持てるものではなく、あわよくば このまま 子どものままでいたい と閉じこもっていつてしまうのではないのでしょうか。

幻想 夢 目標 予定 自分の夢実現には この順番の方程式が必要だ と皆さんも聞いたことがあるでしょうね。いきなり 夢実現というよりも、目標をいつも持つていよう といわれた方が身近かかも。その目標に、期限をつけたのが予定です。その期限は、その人の設定次第ですね。大体 一般的に 思春期 15歳ぐらいになってからすこしずつ方向性を探り出して大人展望になってきたように思えます。(青ちゃんは 20歳過ぎでしたが でも今の時代 20代でたくさん旅をしたり経験したりして 将来展望 目標設定でも良いような気がします) だから、それまでは、全力で今を楽しんで欲しいと願います。失敗しても赤面してもかまわないから。そして、今 を阻害する「大きくなったなになる」「将来の夢は」は、子ども達には使わないと決めました。

全力で一つ一つ今あることに立ち向かう その積み重ねが、未来展望 未来を導く 縁と幸運が舞い込むでしょう。